

福野地域公民館連絡協議会

◆事業の目的

地域の交流が薄まりつつある今日、絆を結ぶべき手段として、福野地域の伝統ある行燈に描かれている田楽武者絵を製作し、ふるさを見つめながら、人とのつながり、地域とのつながりの回復を目標としました。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月～8月	田楽武者絵行燈製作	各公民館	210名
8月20日(土)	スキヤキパレードに参加	駅前～植物園	300名
8月～11月	納涼祭、市公民館まつり、文化祭に参加	各公民館	500名
12月	リヨン市へ武者絵行燈遠征	フランスリヨン市	

◆事業の様子

☆ 田楽武者絵行燈製作

和紙に印刷した武者絵に蠟引きをし、色を入れます。子どもたちが真剣に取り組み、上手に出来たとか出来なかったとか、大変にぎやかでした。それが、人とのつながりなのでしょう。

出来上がった作品を持って記念写真を撮りました。

☆ 様々なイベントに参加

スキヤキパレードでは子どもたちが製作した田楽を持ち歩き、各地区の納涼祭（田楽に灯りが入ると暗いところではとても映えます）文化祭、南砺市公民館まつりには会場に展示して花を添えました。

☆ 海外まで

ふるさとの伝統文化である田楽武者絵が海を渡ってフランスのリヨンへ。海外の方にまで喜ばれ、事業の成功を感じました。

◆事業の成果と課題

田楽行燈を製作するばかりではなく、イベントなどに参加することにも子どもたちの喜びが感じられ、また、親同士、地域の方々との触れ合いがさらに増した気がしました。

また、7公民館がそれぞれのやり方ではありますが、同じ事業に取り組むことにより、横のつながりが増し、さらにほかの行事への課題などを学び、参考にして、それぞれの公民館が歩み続けていきたいものです。

この事業が伝統文化を継承していく良い機会となり、人との絆が強まる楽しい場所となるよう公民館として、今後も計画出来ればと思います。

